



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 富士重工業株式会社
 コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山藤 和典

TEL 03-3347-2005

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	546,932	27.5	69,635	301.8	64,504	237.2	48,467	196.4
25年3月期第1四半期	428,895	42.8	17,332	62.5	19,128	63.6	16,354	△42.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 60,458百万円 (558.4%) 25年3月期第1四半期 9,183百万円 (△67.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	62.10	—
25年3月期第1四半期	20.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,625,819	649,505	39.9
25年3月期	1,577,454	596,813	37.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 647,954百万円 25年3月期 595,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,060,000	18.0	113,000	161.2	110,500	144.0	68,000	68.2	87.13
通期	2,080,000	8.7	198,000	64.4	193,000	91.8	121,000	1.2	155.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	782,865,873 株	25年3月期	782,865,873 株
26年3月期1Q	2,451,539 株	25年3月期	2,435,448 株
26年3月期1Q	780,422,165 株	25年3月期1Q	780,459,549 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

< 添付資料 目次 >

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、為替の円高是正に加え、自動車売上台数の増加などにより、5,469億円と前年同期比1,180億円（27.5%）の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益が696億円と前年同期比523億円（301.8%）の増益となり、経常利益につきましても、645億円と前年同期比454億円（237.2%）の増益となりました。また、四半期純利益につきましては、485億円と前年同期比321億円（196.4%）の増益となりました。

[セグメントの状況]

第1四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

国内におけるスバルの登録車につきましては、「インプレッサ」の販売が好調を維持していることに加え、昨年10月に新たに投入した「SUBARU XV」や昨年11月に全面改良を行った「新型フォレスター」が台数の上積み大きく寄与したことにより、売上台数は29千台と前年同期比11千台（62.4%）の増加となりました。

一方、軽自動車につきましては、乗用系車種が堅調に推移するものの、商用系車種による落ち込みをカバーできず、売上台数は12千台と前年同期比1千台（9.0%）の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は41千台と前年同期比10千台（31.9%）の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米において、昨年後半に新規導入した「SUBARU XV」及び今年3月より導入した「新型フォレスター」の販売が好調に推移したことなどにより、売上台数の合計は150千台と前年同期比15千台（11.4%）の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で116千台と前年同期比27千台（29.9%）の増加、ロシアを含む欧州で10千台と前年同期比9千台（46.7%）の減少、豪州で12千台と前年同期比0.2千台（1.4%）の減少、中国で6千台と前年同期比5千台（46.9%）の減少、その他地域で8千台と前年同期比2千台（48.8%）の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は191千台と前年同期比25千台（15.3%）の増加となり、為替の円高是正も加わり、全体の売上高は、5,133億円と前年同期比1,169億円（29.5%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、649億円と前年同期比493億円（315.9%）の増益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、輸送機「C-2」の量産による売上が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

また、民間向け製品につきましても、「ボーイング777」、「ボーイング787」の売上増加及び為替の円高是正により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は243億円と前年同期比59億円（32.3%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、39億円と前年同期比37億円の増益となりました。

③産業機器事業部門

国内のポンプ用エンジン、北米向け及びアジア向けの販売が伸長したものの、震災復興需要の一巡した国内発電機向けや欧州金融危機の影響が長引く欧州・ロシア向けの販売が減少したことなどにより、売上高は77億円と前年同期比6億円（7.5%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、2億円と前年同期比2億円（51.5%）の減益となりました。

④その他事業部門

その他事業部門に含めておりました「エコテクノロジー事業」を今年3月末日をもって終了したことなどにより、売上高は16億円と前年同期比42億円（72.5%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、6億円と前年同期比5億円（45.6%）の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆6,258億円と前期末に比べ484億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と短期資金運用のための有価証券を合わせた手許資金が383億円増加したことなどであります。

負債につきましても、9,763億円と前期末に比べ43億円の減少となりました。主な要因は、未払法人税等が122億円増加したものの、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が154億円減少したことなどであります。

純資産につきましても、6,495億円と前期末に比べ527億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が407億円増加したことなどであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,679億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は712億円（前年同四半期連結累計期間は393億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を641億円計上したことに加え、たな卸資産の減少172億円、売上債権の減少134億円があったことなどであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は196億円（前年同四半期連結累計期間は172億円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）181億円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は186億円（前年同四半期連結累計期間は243億円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の減少93億円、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）15億円、配当金の支払74億円があったことなどであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表した予想に対し、当第1四半期の業績を反映し、下記のとおり修正させていただきます。

なお、第2四半期以降の連結業績の前提となる為替レートは1米ドル90円（前回公表90円）、1ユーロ120円（前回公表120円）としております。その結果、通期の連結業績の前提となる為替レートは1米ドル92円（前回公表90円）、1ユーロ122円（前回公表120円）となっております。

平成26年3月期通期連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,050,000	百万円 180,000	百万円 175,000	百万円 110,000	円 銭 140.94
今回修正予想(B)	2,080,000	198,000	193,000	121,000	155.04
増減額(B-A)	30,000	18,000	18,000	11,000	
増減率(%)	1.5	10.0	10.3	10.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,912,968	120,411	100,609	119,588	153.23

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	285,152	207,650
受取手形及び売掛金	124,234	112,575
リース投資資産	22,145	21,957
有価証券	66,370	182,156
商品及び製品	163,852	148,980
仕掛品	50,498	55,042
原材料及び貯蔵品	35,217	34,071
繰延税金資産	52,947	60,848
短期貸付金	96,990	102,603
その他	47,579	47,024
貸倒引当金	△951	△1,012
流動資産合計	944,033	971,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,186	113,005
機械装置及び運搬具（純額）	116,864	116,415
土地	173,012	174,217
賃貸用車両及び器具（純額）	13,062	22,121
建設仮勘定	14,232	15,921
その他（純額）	14,599	14,232
有形固定資産合計	444,955	455,911
無形固定資産		
その他	12,751	13,150
無形固定資産合計	12,751	13,150
投資その他の資産		
投資有価証券	93,054	99,235
繰延税金資産	6,227	7,305
その他	80,425	82,313
貸倒引当金	△3,991	△3,989
投資その他の資産合計	175,715	184,864
固定資産合計	633,421	653,925
資産合計	1,577,454	1,625,819

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242,743	223,069
電子記録債務	61,595	65,897
短期借入金	60,867	51,836
1年内返済予定の長期借入金	45,197	44,204
1年内償還予定の社債	10	10
未払法人税等	7,828	20,013
未払費用	83,032	78,566
賞与引当金	17,865	27,085
製品保証引当金	34,740	36,638
工事損失引当金	918	183
事業譲渡損失引当金	2,550	2,040
訴訟損失引当金	369	369
その他	99,317	97,449
流動負債合計	657,031	647,359
固定負債		
社債	14,060	14,060
長期借入金	187,023	186,639
繰延税金負債	19,139	21,021
退職給付引当金	34,917	35,857
役員退職慰労引当金	457	412
その他	68,014	70,966
固定負債合計	323,610	328,955
負債合計	980,641	976,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	301,357	342,016
自己株式	△1,292	△1,325
株主資本合計	613,931	654,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,882	30,493
為替換算調整勘定	△46,448	△37,096
その他の包括利益累計額合計	△18,566	△6,603
少数株主持分	1,448	1,551
純資産合計	596,813	649,505
負債純資産合計	1,577,454	1,625,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	428,895	546,932
売上原価	343,407	396,974
売上総利益	85,488	149,958
販売費及び一般管理費	68,156	80,323
営業利益	17,332	69,635
営業外収益		
受取利息	319	372
受取配当金	282	389
持分法による投資利益	72	52
不動産賃貸料	153	135
デリバティブ評価益	8,872	7,857
その他	186	393
営業外収益合計	9,884	9,198
営業外費用		
支払利息	911	695
為替差損	6,580	13,057
その他	597	577
営業外費用合計	8,088	14,329
経常利益	19,128	64,504
特別利益		
固定資産売却益	58	41
投資有価証券売却益	326	80
その他	4	40
特別利益合計	388	161
特別損失		
固定資産除売却損	412	445
その他	111	111
特別損失合計	523	556
税金等調整前四半期純利益	18,993	64,109
法人税等合計	2,623	15,614
少数株主損益調整前四半期純利益	16,370	48,495
少数株主利益	16	28
四半期純利益	16,354	48,467

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,370	48,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,136	2,611
為替換算調整勘定	△4,133	9,280
持分法適用会社に対する持分相当額	82	72
その他の包括利益合計	△7,187	11,963
四半期包括利益	9,183	60,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,167	60,430
少数株主に係る四半期包括利益	16	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,993	64,109
減価償却費	13,327	15,023
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,374	9,042
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	173	988
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	486	△735
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	486	673
受取利息及び受取配当金	△601	△761
支払利息	911	695
デリバティブ評価損益 (△は益)	△8,872	△7,857
持分法による投資損益 (△は益)	△72	△52
固定資産除売却損益 (△は益)	354	404
売上債権の増減額 (△は増加)	16,624	13,363
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,307	17,196
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,627	△15,778
リース投資資産の増減額 (△は増加)	312	188
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△3,526	△5,111
賃貸用車両及び器具の増減額 (△は増加)	△9,206	△11,552
預り金の増減額 (△は減少)	8,489	11,993
その他	4,263	△9,671
小計	46,195	82,157
利息及び配当金の受取額	626	763
利息の支払額	△941	△611
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△6,538	△11,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,342	71,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,035	△4,972
有価証券の売却による収入	1,037	8,849
有形固定資産の取得による支出	△12,435	△18,357
有形固定資産の売却による収入	483	256
無形固定資産の取得による支出	△908	△1,131
投資有価証券の取得による支出	△2,313	△7,848
投資有価証券の売却による収入	3,157	4,923
貸付けによる支出	△24,619	△26,722
貸付金の回収による収入	23,588	26,653
その他	△3,192	△1,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,237	△19,623

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△9,215	△9,265
長期借入れによる収入	—	1,172
長期借入金の返済による支出	△1,588	△2,721
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△20,000	—
配当金の支払額	△3,306	△7,449
その他	△207	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,316	△18,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,672	5,842
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,883	38,855
現金及び現金同等物の期首残高	258,084	328,947
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	21,320	122
現金及び現金同等物の四半期末残高	274,521	367,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	396,310	18,386	8,377	423,073	5,822	428,895	—	428,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	848	—	16	864	3,512	4,376	△4,376	—
計	397,158	18,386	8,393	423,937	9,334	433,271	△4,376	428,895
セグメント利益	15,606	228	309	16,143	1,076	17,219	113	17,332

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	513,252	24,330	7,747	545,329	1,603	546,932	—	546,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	784	—	114	898	3,212	4,110	△4,110	—
計	514,036	24,330	7,861	546,227	4,815	551,042	△4,110	546,932
セグメント利益	64,898	3,887	150	68,935	585	69,520	115	69,635

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

< 2014年3月期 第1四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：％

	前期実績 2013年3月期 第1四半期 (12. 4.1-6.30)	当期実績 2014年3月期 第1四半期 (2013. 4. 1 — 6. 30)		当期予想 2014年3月期 第2四半期累計 (2013. 4. 1 — 9. 30)			当期予想 2014年3月期 通期 (2013. 4. 1 — 2014. 3. 31)			
		増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率			
売上高	4,289	5,469	1,180	27.5	10,600	1,620	18.0	20,800	1,670	8.7
日本	1,427	1,577	151	10.6	3,100	3	0.1	6,081	▲ 638	▲ 9.5
海外	2,862	3,892	1,030	36.0	7,500	1,617	27.5	14,719	2,308	18.6
営業利益	173	696	523	301.8	1,130	697	161.2	1,980	776	64.4
利益率	4.0	12.7			10.7			9.5		
経常利益	191	645	454	237.2	1,105	652	144.0	1,930	924	91.8
利益率	4.5	11.8			10.4			9.3		
当期純利益	164	485	321	196.4	680	276	68.2	1,210	14	1.2
利益率	3.8	8.9			6.4			5.8		
営業利益増減要因		為替レート差	401		為替レート差	627		為替レート差	819	
		売上構成差	138		売上構成差	162		原価低減	120	
		原価低減	80		原価低減	90		売上構成差	37	
		試験研究費減	2		諸経費等増	▲ 143		諸経費等増	▲ 101	
		諸経費等増	▲ 98		試験研究費増	▲ 39		試験研究費増	▲ 99	
為替レート	81円/US\$ 106円/EUR	98円/US\$ 127円/EUR			94円/US\$ 124円/EUR			92円/US\$ 122円/EUR		
設備投資	113	124			352			670		
減価償却費	119	133			259			550		
試験研究費	130	128			288			590		
有利子負債残高	3,381	2,967			—			2,800		
業績評価		・ 2期連続の増収、営業・経常増益 ・ 売上高、営業・経常利益は 全ての四半期を通じて過去最高 ・ 売上台数、当期純利益は 第1四半期過去最高			・ 2期連続の増収、各利益増益 ・ 売上台数、売上高、営業・経常利益 は全ての半期を通じて過去最高 ・ 当期純利益は上期過去最高			・ 2期連続の増収、各利益増益 ・ 売上台数、売上高、各利益ともに 通期過去最高		
日本売上台数	31	41	10	31.9	81	9	12.4	156	▲ 8	▲ 4.7
登録車	18	29	11	62.4	55	10	21.3	102	▲ 11	▲ 9.8
軽自動車	13	12	▲ 1	▲ 9.0	26	▲ 1	▲ 2.8	54	3	6.9
海外売上台数	135	150	15	11.4	303	27	9.6	596	35	6.2
北米	89	116	27	29.9	229	49	26.9	420	30	7.7
欧州	18	10	▲ 9	▲ 46.7	21	▲ 15	▲ 41.5	54	▲ 7	▲ 11.0
中国	11	6	▲ 5	▲ 46.9	21	▲ 6	▲ 21.9	51	1	2.0
その他	17	19	2	13.8	32	▲ 1	▲ 3.4	70	10	17.1
連結売上台数総計	166	191	25	15.3	384	35	10.2	752	27	3.7
生産台数合計	182	197	16	8.6	384	24	6.6	758	▲ 6	▲ 0.8
日本	137	153	16	12.0	293	21	7.7	594	10	1.8
米国	45	44	▲ 1	▲ 1.9	90	3	3.2	164	▲ 17	▲ 9.3
売上高事業別	自動車	3,963	5,133	1,169	29.5					
	航空宇宙	184	243	59	32.3					
	産業機器	84	77	▲ 6	▲ 7.5					
	その他	58	16	▲ 42	▲ 72.5					
営業利益事業別	自動車	156	649	493	315.9					
	航空宇宙	2	39	37	1,604.8					
	産業機器	3	2	▲ 2	▲ 51.5					
	その他	11	6	▲ 5	▲ 45.6					
	消去・全社	1	1	0	1.8					

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

注4. 国内生産台数合計にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2013年7月31日

富士重工業 2014年3月期 第1四半期連結業績の概要

<2014年3月期 第1四半期業績：連結売上高>

スバル車の海外販売は、インプレッサ、フォレスターの販売が好調に推移したことにより、米国市場では前年同期比29.1%増となる106千台となるなど、海外販売合計で同11.4%増の150千台と伸長しました。一方、国内販売は、軽自動車が前年を下回ったものの、登録車の販売が好調を維持し、同31.9%増の41千台となり、この結果、全世界合計の販売台数は同15.3%増の191千台となりました。連結売上高は、売上台数の増加と為替の円高是正の寄与により、同27.5%増の5,469億円となりました。なお、連結売上高、海外販売台数は全ての四半期を通じて過去最高*1、全世界販売台数は第1四半期として過去最高*1となりました。

<2014年3月期 第1四半期業績：連結損益>

連結損益は、スバル車の販売台数増加ならびに為替の円高是正、原価低減の進捗等により、営業利益が前年同期比301.8%増となる696億円、経常利益は同237.2%増の645億円となりました。当期純利益は、同196.4%増の485億円となりました。なお、当期業績において、営業利益、経常利益は全ての四半期を通じて過去最高*1、当期純利益は第1四半期として過去最高*1となりました。

<2014年3月期 通期業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回予想に対して、第1四半期の実績を反映し、売上高2兆800億円、営業利益1,980億円、経常利益1,930億円、当期純利益1,210億円とそれぞれ上方修正します。売上高、各利益段階のいずれも過去最高*2となる見通しです。なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥92/US\$、¥122/EUROです。

※前回（2013年5月8日）公表の通期連結業績見通し

売上高2兆500億円、営業利益1,800億円、経常利益1,750億円、当期純利益1,100億円、
想定為替レート¥90/US\$、¥120/EURO

*1：連結四半期決算の開示を始めた2004年3月期以降の過去最高
*2：連結通期決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。